専門学校 富士リハビリテーション大学校

令和６年度　第２回学校関係者評価委員会　会議録

日　　時	令和６年 11 月６日（水）19：00～20：10
開催場所	専門学校 富士リハビリテーション大学校　101 教室
出 席 者	⑴ 委員（出席４名） ⑵ 学校（出席７名）

⑴ 委員（出席４名）

氏名	所属等	選出区分
廣瀬 真人	富士整形外科病院　理学療法士/診療支援部門統括副部長	業界関係者
澤田 和也	湖山リハビリテーション病院　作業療法士/事務長	業界関係者
佐野 正夫	専門学校 富士リハビリテーション大学校　同窓会長	卒業生
田邉 享子	専門学校 富士リハビリテーション大学校　後援会長	保護者

⑵ 学校（出席７名）

氏名	所属等	
内田 成男	専門学校 富士リハビリテーション大学校　学校長	―
宮下 正好	専門学校 富士リハビリテーション大学校　教務部長	―
岡本 貴子	専門学校 富士リハビリテーション大学校　事務長	―
市村 真樹	専門学校 富士リハビリテーション大学校　学生担当課長	―
植田 英則	専門学校 富士リハビリテーション大学校　理学療法学科 学科長	―
岡本 博行	専門学校 富士リハビリテーション大学校　作業療法学科 学科長	―

１　学校長挨拶

２　前回議事録確認

３　2024 年度重点目標の改善計画進捗状況

⑴　学生募集の強化

①　組織の改編：「入試広報課」を新設。事務局から１名を専属。さらに２名の増員。１名は高校教諭 OB。

②　ガイダンス、高校訪問の強化：業者ガイダンスの経費を増額し、ガイダンス数を増加。広報職員を増加したので高校訪問の回数を増加。

③　オープンキャンパスの強化：教員の OC 出勤を増やし、教員と参加者との接触を増加。職業説明・体験を工夫して取り組んだ。医療施設の方を招き、職場の現状(リハ専門職の重要性、不足、特に OT の不足)を伝えてもらう機会を設けた。

④　入試状況

10 月 21 日に第 1 回入試を実施。PT 学科 45 名、OT 学科 30 名の合格。昨年同時期（PT 学科 32 名、OT 学科 23 名）を超える合格者であった。

⑵　非常勤講師との連携協会

校内報、授業アンケート結果の郵送を引き続き行った。

4　意見交換・質疑応答

⑴ 学生募集について

- 広報職員の増員は良い。高校教諭 OB の職員の雇用の経緯は。
- 姉妹校の浜松医療学院に在籍している高校教諭 OB の広報職員に紹介してもらった。
- ガイダンス参加者はオープンキャンパス参加につながっているか。
- 数字は把握していないが、感覚的には誘導できているように思う。接触数が増えることで誘導できる人数が増加していると思う。
- OT が不足するのはなぜか。
- リハビリ職で最初に出会うのは PT が多い。OT に接触する機会は少ない。
- 家族などが病院でリハビリを受けている様子をみて OT を知る機会があるが、コロナで病院への立ち入りが制限されたことで、こうした機会も減っているので余計に接触する機会がない。
- オープンキャンパスでは、これまで OT は分野が広いという説明をしていたが、今年はある程度しぼって説明した。発達障害などにしぼって説明した。

⑵ 教育状況の報告

- 理学療法学科の在籍は、1 年生 32 名、2 年生 39 名、2 年生 42 名、4 年生 39 名(休学 1 名含む)。合計 152 名、在籍率 95%。就職は 25 名が内定。昨年同様、速いペースで内定が出ている。11 月中には 30 名以上は内定すると見込んでいる。県内の就職が多いが、東京・神奈川への就職も 5 ～ 6 名ほどいる。1 年生で 6 名が退学となり残念だったが、2 ～ 4 年生では退学者は出ていない。
- 作業療法学科の在籍は、1 年生 25 名、2 年生 31 名、3 年生 34 名、4 年生 29 名。就職は 18 名で内定が出ている。例年に比べて速いペース。県内の就職が 15 名、県外は 3 名、県外は神奈川県。分野については、身障が 15 名、精神が 3 名。精神志望で就職活動中の学生は 2 ～ 3 名おり、例年よりも精神科志望は多い。発達障害志望も 2 名ほどいる。1 年生は 25 名だが、今のところ退学はゼロ。欠席は少なく、受講態度は良い。
- 今年の 1 年生から電子テキストを導入。医学書院のシリーズを採用。シリーズをセットで購入するため、2 年生以降で使用する教科書も入っている。入学時の購入費としてはこれまでより高価だが、2 年生以降はこれまでより安価となる見通し。
- 他職種連携授業を導入している。富士市立看護専門学校、静岡医療センター看護学校、静岡県立看護専門学校との合同演習。昨年度は 3 年生が富士市立看護専門学校と実施した。今年度は 4 年生が静岡医療センター看護学校と実施した。今後、2 , 3 , 4 年でそれぞれ実施するように進めたい。

5　次年度について

⑴ 次年度委員について

- 澤田委員、廣瀬委員、佐野委員は次年度も継続いただけることとなった。
- 田邉委員は、今年度末で退任となった。

⑵ 次年度の日程

・　第 1 回 5 月 14 日(水)

・　第 2 回 11 月 5 日(水)

以上の日程が承認された。